

札幌を学ぶ

選 択

開講年次：1年次前期

科目区分：講 義

単 位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：札幌市が取り組む政策や地域課題を中心に、札幌の地域特性や道都としての札幌と北海道各地との関係、地域がかかえる問題や課題を学び考える。札幌市の協力により、市長をはじめ各担当者をゲストスピーカーとして招き、お話を聞き、学生との意見交換を行う。科目責任者はゲストスピーカーの紹介、ファシリテーター、学生への情報提供と評価を担当する。

■**到達目標**：①地域社会に対し興味・関心を持つ
②人の話を注意深く聞き理解する姿勢と能力を身に付ける
③適切なコメント・質問をする能力を身に付ける。

■**担当教員**：原 俊彦

■授業計画・内容：

- 第1回 【プロローグ】札幌の学び方 授業の進め方（科目担当者）
- 第2回 【未来】街が変わる、SAPPOROの街が（札幌市長）
- 第3回 【自治】自治基本条例と地域のまちづくり（市民文化局）
- 第4回 【地域福祉】市民の支え合いによる地域社会～地域福祉社会計画・福祉のまち推進事業（保健福祉局）
- 第5回 【子育て】子育て家庭の現状と子育て支援の必要性（子ども未来局）
- 第6回 【芸術】札幌国際芸術祭について（札幌国際芸術祭事務局）
- 第7回 【みどり】さっぽろのみどりづくり（建設局）
- 第8回 【国際化】札幌市の国際化～これからの海外との関係を考えよう（総務局）
- 第9回 【スポーツ】冬季オリンピック・パラリンピックの招致（スポーツ局）
- 第10回 【広報】笑顔をキーワードとしたシティプロモート～札幌の魅力を伝えるために（総務局）
- 第11回 【観光】観光の現状と観光まちづくりプラン（経済観光局）
- 第12回 【エネルギー】エネルギーについて考えましょう～これからのエネルギー利用（環境局）
- 第13回 【産業】札幌市の産業振興施策～産業の力で札幌を元気に！（経済観光局）
- 第14回 【都市計画】さっぽろの都市計画～これからの都市づくりについて（まちづくり政策局）
- 第15回 【財政】札幌市の財政状況（財政局）

■**教科書**：特にないが、各回の講師の先生のプロフィールや関連情報を事前にポータルシステムで送信するので講義前や終了後に読むことを奨める。なお講師の先生が授業で使用するパワーポイントは著作権の関係もあり、電子ファイルでの公開はできませんので、当日の配布資料など参考に、しっかりメモを取って下さい。

■**参考文献**：同上。関連する参考文献やリンクをポータルシステムで配布する。

■**成績評価基準と方法**：3分1（6回）以上欠席すると単位が出ません。授業中にし出す課題（感想や意見を書く）を2週間以内にポータルシステムで提出、5点満点で評価（提出遅れは1点減点）し、その合計点を100点満点に換算し、上記の到達目標の達成度を評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート					
授業態度		◎		居眠り・おしゃべりなど受講態度の悪い者は減点します。	1回目5点、2回目10点 3回目15点の減点で、 3回注意を受けると不合格になります。
発表					
課題・作品	◎	◎	◎	ポータルで出だす課題の回答を評価(5点満点、提出遅れは1点減点)。全課題の合計点を100点満点に換算する。	100
出席	○			6回以上欠席すると単位は出ません。	
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：地域連携科目

■その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）：

ゲストスピーカーの話が教科書がわりになるので、人の話をじっくり聞き理解することが大切です。そのためには人の話を聞いてあげるといってではなく、聞かせて頂くという謙虚な姿勢が必要です。居眠り、おしゃべりなど失礼のないようにして下さい。また授業では、後半の30分程度を講師の先生との質疑応答に当てる予定です。貴重な機会ですので、わからないことや自分の意見があれば、手を挙げて積極的に参加しましょう。

なお、上記の授業計画は、ゲストスピーカーの都合などにより、内容や順番が変更となる可能性があります。